

【家庭科・小6・「まかせてね 今日の食事」】①

育成を目指す資質・能力

- （知識及び技能）食品の栄養的特徴、料理の食品を組み合わせるとる必要があること、献立を構成する要素、1食分の献立作成の方法について理解する。
- （思、判、表等）1食分の献立の栄養バランスについて、問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- （学びに向かう力等）家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

ICT活用のポイント

考えを視覚的に共有し、グループでの意見交流を図ったり、スムーズに全体で把握したりできる。 / 資料を提示する。

本時のめあてをつかむ

学習課題と学習計画を立てよう

問題を見だし、学習課題を設定する

家族に喜んでもらうために、栄養バランスがとれた1食分の献立を立てられるようにするには、どうしたらよいか

学習課題を解決するための学習計画を立てる【場面①・②】

本時の振り返りをする【場面③】

事例の概要

これまでの食に関わる学習内容を振り返り、身に付けてきたことや、これから身に付けたいことについて意見交流することを通して、本題材の課題を設定し、課題を解決するための学習計画を立てる。

【事例におけるICT活用の場面①・②】

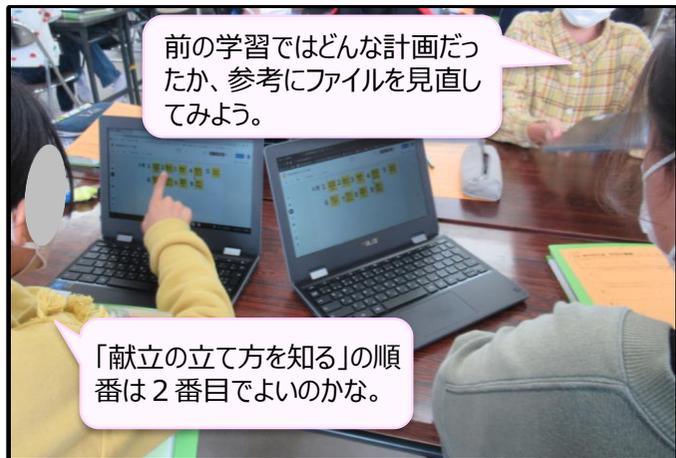
- 学習支援ソフトで画面を共有し、グループで話し合い、電子ホワイトボードの付箋に書き込む。
- グループごとに考えた学習計画を大型提示装置と端末に映して共有し、全体で学習計画を検討してまとめる。

【事例におけるICT活用の場面③】

- 振り返りの最後に、家庭や地域で募集したレシピ集の一部を大型提示装置に映し、今後の学習への見通しをもつ。

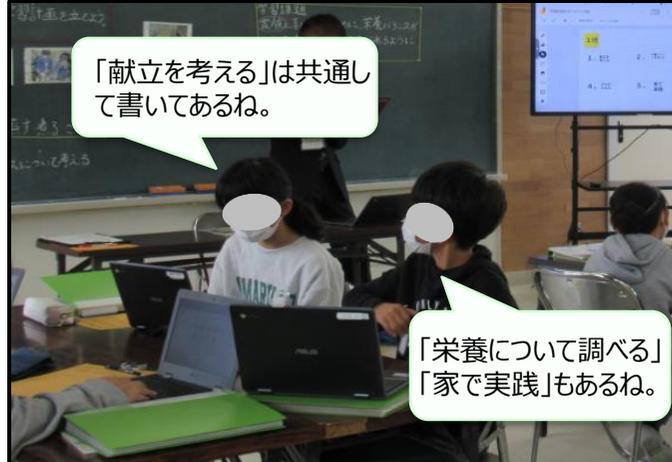
【家庭科・小6・「まかせてね 今日の食事」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



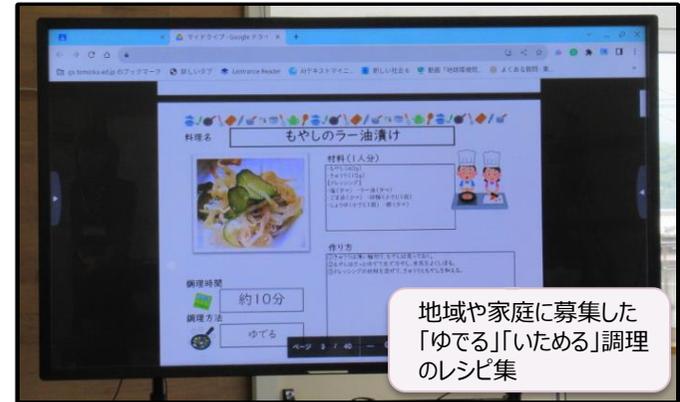
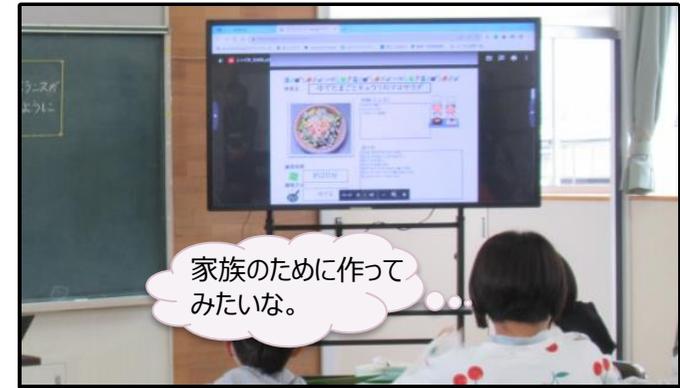
共有画面を見ながら付箋に書き込み、話し合うことで、視覚的に意見が整理しやすくなる。付箋の移動、追加や削除、書き込んだ内容の修正が容易にできるため、順番を入れ替えたり、内容を整理し直したり、試行を繰り返して学習計画を考えることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】



共有画面を見ながら、各グループで考えた学習計画に共通しているものを見付け出す。全体での話し合いで学習内容と順番を検討し、クラス用のシートにまとめていく。シートを共有することで、各自で書き込む時間を省けるため、全体で検討する時間を確保できた。

【事例におけるICT活用の場面③】



献立を考える学習で活用するために、家庭や地域から集めた調理のレシピ集の一部を大型提示装置に映して紹介した。児童からは「やったあ」など歓声が上がリ、これからの学習への意欲や見通しをもつことにつながった。

【活用したソフトや機能】

- ・学習支援ソフト
- ・電子ホワイトボード
- ・ファイル共有機能
- ・大型提示装置